



◆ 令和4年度東京都・品川区合同総合防災訓練に展示参加しました。

令和4年度東京都・品川区合同総合防災訓練が9月3日(土)と4日(日)に、品川区内の各会場で開催され、緊急地震速報利用者協議会と共に気象業務支援センターも、3日の林試の森公園会場の展示・体験等訓練に参加しました。

今回の訓練は、「住民等による自助・共助」「行政及び関係機関の連携」を統一テーマに、狭隘地区を有する品川区の地域特性を踏まえた防災力の向上と、近年防災分野においても発展が進んでいるデジタル化(防災DX)に取り組んでいます。

昨年がコロナの影響で直前中止となったため「2年ぶりの」訓練でしたが、今回も、「三密」とならないよう、会場内の一般来場者数を限定するなど、細心の注意を払いながらの開催でした。

前日の雨で水たまりが残るなど足場の悪いところも多々あり、各機関は事前準備に苦労する中での展示訓練となりました。また、人数制限や全体会場が狭隘で、避難・救助訓練が翌4日と分散されたこともあり、展示ブースの来場者はあまり多くありませんでしたが、緊急地震速報利用者協議会会員の皆さまと協力し、丁寧な対応に努めました。

今回の訓練では、当日の参加者全員に「コロナ感染防止のためのチェックリスト」の提出、開催日から2週間の経過観察など、徹底した感染防止対策が取られています。来年こそは、人数制限等のない通常での訓練となることを期待しています。



【写真】展示ブースの全景

【写真】展示システム



【写真】展示会場入り口風景
会場入り口では、来場者の検温など健康チェック、場内の人数チェックなどが、厳しく実施されていた。



【写真】展示、説明風景

参加の緊急地震速報利用者協議会の会員が、来場者に緊急地震速報のしくみや、速報受信システムについて、丁寧に説明



【写真】特殊車輛展示風景



【写真】展示会場風景